

美術博物館の催し



特別展 art trip vol.03

in number, new world / 四海の数

かつて多くの哲学者は「数とは何か」と議論を交わしました。世界を構成する事象は数字で表されており、私たちは数に囲まれて生きています。本展では、今井祝雄、久門剛史、津田道子、中村裕太の作品とともに当館の所蔵作品を通して、「数」について考えて行きます。



久門剛史《crossfades》(部分) 2013年

■期間 12月7日～令和2年2月9日午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■申し込み 当日直接会場へ ■問い合わせ 下記へ

オープニングイベント

アーティストによるギャラリートーク



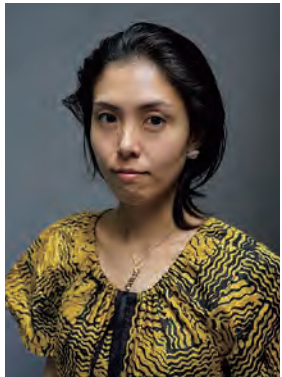
久門剛史

オープニングイベントとして、本展出品作家によるギャラリートークを開催。

■日時 12月7日(土)午後3時～5時 ■会場 展示室 ■申し込み 当日直接会場へ ■問い合わせ 下記へ



今井祝雄



津田道子



中村裕太

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434/✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)・12月28日～令和2年1月4日 【観覧料】一般700(560)円、大高生500(400)円、中学生以下無料 ※ ()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

トークⅠ

本展出展作家が、活動や作品について話します。

■日時 12月14日(土)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■定員 80人 ■講師 久門剛史(美術家)・林寿美(インディペンデントキュレーター) ■申し込み 当日直接会場へ ■問い合わせ 美術博物館へ

トークⅡ

本展出展作家が、活動や作品について話します。

■日時 12月21日(土)午後2時～4時 ■会場 講義室 ■定員 80人 ■講師 今井祝雄(美術家)・浅沼敬子(北海道大学大学院准教授・芸術学) ■申し込み 当日直接会場へ ■問い合わせ 美術博物館へ

ツアートーク「長谷川三郎の軌跡を追って」

戦前の抽象美術をリードした芦屋ゆかりの画家長谷川三郎。講師と会場を巡りながらその多彩な画業の足跡を読み解いていきます。



長谷川三郎《赤の静物》1934年油彩・布 芦屋市立美術館蔵

■日時 令和2年1月25日(土)午後1時～4時(予定) ■会場 美術博物館・甲南学園長谷川三郎記念ギャラリー ■定員 20人 ■講師 中村裕太(美術家)・服部正(甲南大学教授) ■料金 要観覧券(交通費実費負担) ■申し込み 1月10日(金)までに、メールか電話で、氏名・住所・電話番号を美術博物館へ。応募多数抽選。 ■問い合わせ 美術博物館へ

美術博物館観覧無料日

12月25日(水)・令和2年1月13日(月・祝)

「一昔のくらし」展

昔の人が使っていた資料を通して、当時の生活を紹介します。今年はさまざまな遊びや生活の様子に焦点を当てた展示を行います。

学芸員によるギャラリートーク/12月22日(日)午後2時～2時30分・歴史資料展示室



■期間 12月7日～令和2年2月24日 ■申し込み 当日直接会場へ ■問い合わせ 左記へ

谷崎潤一郎記念館の催し



冬の特設展「潤一郎、THE SHOW TIME !!」

～文豪inエンターテイメント～

谷崎潤一郎の作品は、映画・演劇等に数多く翻案されてきました。そんな「エンターテイメントの文豪」谷崎の文学に焦点をあてます。(通常展「谷崎潤一郎・人と作品」併設)



映画「雑祭の夜」スナップ

■期間 12月14日～令和2年3月8日 ■問い合わせ 下記へ

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244/✉ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)・12月2日・12月9日～13日・16日・23日・28日～令和2年1月4日・6日・14日・20日 【観覧料】11月27日～12月8日一般400(320)円、大高生300(240)円、中学生以下無料/12月14日～3月8日一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料※ ()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

ロビー展示 大世晃僖写真展

「和合の力 光の狐～伏見稲荷編～」

稲荷大神の使いとされる一對の狐像。人々の厚い信仰心や神との和合の力。神聖なものを感じるひととき。12月22日(日)午後2時～3時はギャラリートークも開催。(要観覧料)



©Taiyo Teruki

京都伏見稲荷山 御劔社 一對の狐

■期間 11月27日～令和2年1月26日 ■問い合わせ 下記へ